

研究参加者の皆様へ

研究課題「電子カルテデータ二次利用による患者転倒に関する

クリニカルインディケータ開発研究」

へのご協力のお願い

1. この研究の概要

【研究課題】

電子カルテデータ二次利用による患者転倒に関するクリニカルインディケータ開発研究

【研究機関名及び研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示す通りです。

研究機関 東京大学医学部附属病院企画情報運営部

研究責任者 横田 慎一郎 東京大学大学院医学系研究科 企画情報運営部 助教

【共同研究機関】

なし

【研究目的】

本研究の目的は、過去の電子カルテデータとインシデントレポートを分析することで、病院全体としての転倒リスクを評価するための指標を開発することです。

【研究方法】

東大病院の電子カルテに保存された診療記録データ、オーダ情報データ、インシデントレポートを元データとして、連結不可能匿名化处理により個人情報を削除した上で統計的に解析します。

研究対象者は、平成 22 年 5 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの期間に東京大学医学部附属病院に入院された方ですが、既存の院内のデータベースよりデータを取得して分析するため、新たに患者さんに調査を行うことはありません。

2. 研究協力の任意性と撤回の自由

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、本資料掲載後 2 週間以内に以下にご連絡くださいますようお願いいたします。同意されない対象者のデータは、上記期間内であれば分析対象から除外しますが、それ以降につきましては、データの連結不可能匿名化处理の関係上、対応できない場合があります。

また、同意されない場合においても、将来にわたって当院における診療において不利益を被ることはありませんので、ご安心下さい。

3. 個人情報の保護

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

本研究で解析に利用する診療データは連結不可能匿名化されるため個人が特定されることはなく、分析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。

4. 研究結果の公表

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報明らかにしないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表します。結果については、前述の連結不可能匿名化の為、個人的にお問い合わせがあった場合にもお伝えすることができません。

5. 研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、この研究の成果は、今後の転倒リスクマネジメント研究の発展に寄与することが期待されます。したがって、将来、あなたの入院中生活の質を保つ方策に繋がる面で、利益をもたらす可能性があると考えられます。

6. 研究終了後の資料（試料）等の取扱方針

あなたからいただいた電子カルテデータは、この研究のためにのみ使用します。研究終了後、全てのデータを適切な方法で破棄します。

7. あなたの費用負担

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありません。

8. その他

この研究は、東京大学倫理委員会の承認を受けて実施するものです。なお、この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院企画情報運営部の運営費並びに科学研究費から支出されています。ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。また、開示請求等の手続きは「東京大学個人情報開示等に関する規則」（東大規則第328号）に従って行います。

2014年6月18日 揭示

2015年4月14日 修正

【連絡先】

研究責任者 / 連絡担当者：横田慎一郎
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学医学部附属病院企画情報運営部
Tel: 03-5800-8685 Fax: 03-3813-7238